

現場見学会

岩国工業高等学校／都市工学科



形に残る仕事が可能
な土木を通して
造ることの醍醐味を知ろう！

山口県建設業協会では、平成2年より土木・建築分野を学ぶ高校生を対象に建設現場見学会を実施しています。見学会では、現場を訪れて建設業への理解を深めてもらい、新たな魅力を感じてもらって、新しいことを目的としています。

今回6月21日に行われた建設現場見学会は、岩国工業高等学校都市工学科1年生の40名が参加しました。同校では年1回見学会が行われ、建設業の仕事を生徒自らに体感します。この日は3ヶ所の見学会を訪れました。

まず最初に訪れた大島大橋は1976年7月に開通し、世界初となる多柱式基礎の上に連続トラスを設置する構造が採用された橋です。橋梁補修工事は、橋約70年もたせるために橋を支える内管と外管を補修していくもので、生徒の皆さんは現場から少し離れた高台でこの作業を見学しました。初めて耳にする難しい言葉がありましたが、作業員の説明に耳を傾け、食い入るように補修工事現場を見つめていました。

次に、堤高48m、堤頂長253mの黒杭川上流ダムの内部に入り見学を行いました。内部は外気温よりもずっと低くて肌寒く、水で湿った足場の悪さに、生徒の皆さんは息を切らしながら階段を下つたり上つたりしました。内部から出ると、現場監督を女性が務めていたことを知り、女生徒さんからは「私もなりたい！」「憧れます」との声が上がりました。

最後の見学会は、熊川河口付近に建造され、平成2年に山口県有形民俗文化財に指定された土手町南蛮樋です。現場に到着すると、作業員が重機を使って水はけをよくするために、河川改修工事を行っていました。柳井土木建築事務所の担当者から、工事での注意点や周辺への配慮を聞いた後は、実際に工用具を生徒さん自らに触って感触を確かめました。先ほどの2ヶ所とは違い、目の前で行われている工事を目にした生徒さんは、きらきらと目を輝かせて、現場担当者の説明を聞きながら、工事風景を見つめていました。

数人の生徒さんに今回の見学会の感想を聞いたところ、「面白かった」「実際に見たら大変そう」「将来、ダムを造りたい」など感想を述べてくれました。



岡田先生

2011年度 高校生現場見学 参加校 (延べ11校 373名)

■土木系学科

工事名	実施日	対象生徒	学校名
徳山下松港廃棄物埋立護岸 徳山下松港耐震岸壁 石原南川砂防堰堤	6月1日	40名	田布施農工高等学校
沢波川周防高潮対策事業 宇部小野田湾岸道路	6月7日	34名	萩商工高等学校
	6月23日	32名	下関中央工業高等学校
437号橋梁工事大島大橋橋梁補修工事 黒杭川上流ダム工事現場 熊川護岸工事現場	8月26日	11名	宇部西高等学校
	6月8日	36名	徳山商工高等学校
	6月21日	40名	岩国工業高等学校
	8月19日	40名	山口農業高等学校
合計	7校	233名	

■建築系学科

工事名	実施日	対象生徒	学校名
柳井警察署庁舎新築工事	6月7日	33名	萩商工高等学校
	6月8日	37名	柳井商工高等学校
防府商業高等学校特別教室 新築工事	6月9日	30名	下関中央工業高等学校
	6月21日	40名	岩国工業高等学校
合計	4校	140名	